

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 高知県
 本事業の担当部署名 子ども・福祉政策部子育て支援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	3.2.2 地域全体で結婚・子育て、子育てと仕事の両立と多様な働き方を応援する気運醸成						
個別事業名	地域子育て支援活動促進事業				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)	5,858,215		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	5,858,215
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	5,858,215						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	5,858,215	0	0	0		5,858,215
	対象経費支出予定額	5,858,215	0	0	0		5,858,215
対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本県においては、少子化対策を「高知県元気な未来創造戦略(以下、「創造戦略」という。)の中に位置づけ、「若者の定着・増加」と「婚姻数の増加」による「出生数の増加」により、若年人口の減少傾向に、4、5年後までに歯止めをかけ、おおむね10年後には令和4年度の水準まで回復させることを目指す。</p> <p><本個別事業の位置付け> 創造戦略の「政策3 子どもを生み、育てたい希望をかなえる」において「安心して妊娠・出産・子育てできる体制づくり」の1つとして「住民参加型の子育てしやすい地域づくり」を基本的方向として位置づけている。 子育て支援センター職員の交流会の開催やファミリー・サポート・センターの提供会員同士の交流の場を設け、更なる活動促進につなげることで、地域の子育て支援者の活動を促進し、子育て家庭の孤立化を防ぎ、安心して子育てできる環境づくりを行う。</p>						
番号	項目	内容					
1	地域子育て支援センター職員交流会の開催	地域子育て支援センター職員を対象とし、地域連携事例などの共有を図ることを目的に、県内を4圏域に分けて交流会を開催する。 【交流会内容(案)】 ・地域連携をテーマにした意見交換 ・地域の子育てサークル等の活動紹介 ・地域連携をテーマにした研修(外部講師) 【対象】 県内の地域子育て支援センター職員 各回15名程度を想定 3圏域に分けて全3回開催					

個別事業の内容	2	子育て支援者養成研修の開催	子育て当事者などで形成される子育てサークルや子育てを支援する個人、団体を対象とし、多種多様にわたる子育て家庭の課題について、多角的な視点から子育て支援を行う人材の育成を図ることを目的に実施する。 【内容(案)】 子育てサークルの運営や子育て支援活動を行うためのノウハウを学ぶ。 【対象】 県内の子育てサークル、子育て支援に興味がある個人、団体の方 参加者20名程度を想定
	3	ファミリー・サポート・センター提供会員の交流会の開催	ファミサポの提供会員同士が情報交換を行う機会は少なく、アドバイザーとのやりとりが主となる。ヒヤリハットの事例や預かり・送迎を行う上での工夫等を会員同士で共有することで、会員の資質向上につながり、サービスの充実につながるほか、モチベーションの向上による活動促進を図る ○対象 全2回、各回15名程度を想定 ○内容 ・ヒヤリハット事例、活動時の工夫等の情報交換 ・活動上の課題とその解決策に関する意見交換 ・やりがいを感じた瞬間の事例発表
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)></p> <p>■個別事業1 交流会を実施したことにより、近隣の地域子育て支援センターで連携することのきっかけとなった。テーマとした地域連携について、講師から実際の事例等を踏まえながら必要性を学ぶことができた。参加者からは、必要性が認識できたという声が多かった。一方で、「課題を認識できたが、何から取り組んでいいかわからない」といった声もあった。そのため、近隣の支援拠点の事例を交換できる機会を増やすことや、より具体的に県内の支援拠点にあった取組を紹介するような内容とする。</p> <p>■個別事業2 地域で子育て支援活動を行う個々の子育てサークルが実施する子育て講座を行ってきたが、より基礎的なサークル運営のノウハウを学ぶことができる研修を実施する。</p> <p>■個別事業3 提供会員への周知が各市町村またはファミサポ事業委託先の周知に委ねるところが大きく、個別に行き届いていない状態である。交流会の取組自体は市町村の垣根を越えた交流の場となり好評であったため、市町村を巻き込んだ周知や令和7年度に参加した提供会員からの口コミ等による横の広がりを活かした広報を実施する。</p>			

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.64 (R9)	1.25 (R6)
	安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できる社会になっていると考える人の割合		%	50 (R9)	26.1 (R7)
	①理想的な子どもの人数②現実に持たたい子どもの人数		人	双数値の上昇・ 双数値差の縮小 (R8)	①2.14 (R7) ②1.77 (R7)
	平均初婚年齢(夫・妻)		歳	年齢低下 (R8)	夫30.6歳 (R6) 妻29.5歳 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.25 (R6)	
	婚姻件数		件	2,071 (R6)	
	婚姻率			3.2 (R6)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	地域子育て支援センター職員の交流会の参加者数	人	50 (R8年度)	43 (R7年度)
	②	子育て支援者養成研修の参加者	人	20 (R8年度)	12 (R7年度見込み)
	③	ファミリー・サポート・センター提供会員の交流会の参加者数	人	30 (R8年度)	25 (R7年度見込み)
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	-	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	④	安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できる社会になっていると考える人の割合	%	50 (R8)	26.1 (R7)
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					